

南房白浜沖も春ヤリ本番は目前 肉厚良型を乗せまくろう

イカ釣り 11の知恵

「巻頭特集」



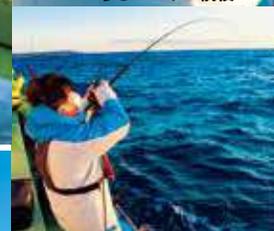
◎このサイズなら10杯も釣れば土産としては十分



◎いい日に当たればツノ数分のイカが掛かることも



▲この日のタナは底から5メートル前後



▲当地のオモリは150号。イカが乗ることを信じてジャクリ続けよう



◎取り込みはとにかく慌てないことが大切

直結仕掛けもお忘れなく!



◎プラズノ11センチのブランコ仕掛けが基本ながら、サバが多いとき、志村船長はプラズノ14センチ4〜5本程度の直結仕掛けを推奨。直結に慣れていない人でもツノ数を少なくすれば取り込みやすいとのこと。おいしいマサバも魅力的だが本命はヤリイカ、お土産分のサバをキープしたら、ぜひ!



◎この日の最高は4点掛け

◎ヤリイカ釣りでは邪魔者扱いされることが多いサバも、食味抜群の寒サバなら大歓迎!



◎スルメイカが1割ほど交じった

の良型主体で重量感のある乗りを満喫した。
早朝はこの釣りに付きもののサバの猛攻に遭う流しもあったが、この時期当地で上がるマサバは脂がたっぷり乗った至高の魚。小ぶりでも抜群にいいので、サバ好きならずとも水氷を張ったクーラーでしっかり冷やして持ち帰ろう。
(詳細は50ページ参照)

◎南房乙浜港・良和丸 志村 良一船長



南房、外房地区のヤリイカも盛り上がりつつある。
1月下旬に釣行した南房布良港の良和丸では、白浜沖の水深160〜200メートル前後を中心に流し、トップ30杯以上で大半が20杯前後をキープ。春ヤリ本番を彷彿とさせる胸長30〜40センチ級

◎当日は大型のオスが目立った



▲大型のヤリイカは乗りも明確

◎釣り場は白浜沖、早朝は水深160メートル、後半は200メートル前後を狙った

